

## 小規模特別養護老人ホーム 昴 平成 29 年度事業報告書

施設長 石栗 千秋

### 1. 職員の配置状況

(当該年度 3月31日現在)

職名 区分	施設長	管理者	介護支援専門員	生活相談員	医師	看護師	機能訓練指導員	介護職員	栄養士(管理)	事務員	環境整備員	合計
基準定数 ・・・①	1	1	1	1	(1)	1	1	10	1			17
正規職員の配置 ・・・②	1	1	1	2		1	1	17				24
正規職員以外の配置 ・・・③					(1)			5	1	1	1	8
現員計 ②+③=④	1	1	1	2	(1)	1	1	22	1	1	1	32

※ 基準定数は、人員に関する基準に基づき算定される員数を記入。

※ 嘱託医は、〔 〕内で記入。

### 2. 利用者の状況

(当該年度 3月31日現在)

	男	女	計
入居者数	3人 (0人)	4人 (1人)	7人 (1人)
退居者数 (亡くなった方を含む)	4人 (0人)	3人 (0人)	7人 (0人)
年度末現在の入居者在籍数	8人 (0人)	21人 (0人)	29人 (0人)

( ) は、短期入所利用者数を示す。

☆年間延べ利用者数

特養・・・延べ 10,312 人

短期入所・・・延べ 33 人

3. 利用者処遇の充実の状況

(1) ケアカンファレンス実施状況

(当該年度 3月31日現在)

会議名	開催回数		定例開催日	記録の有無	参加職種
	定例	臨時			
運営会議	12	0	第1水曜	○・無	施設長・CM・介護係長・各ユニットリーダー・看護師・管理栄養士・相談員
ケース会議	136	28	随時		CM・居室担当またはユニットリーダー・看護師・栄養士・機能訓練指導員・相談員
入所判定会議	12	0	第1水曜		運営会議に同じ
職員全体会議	12	0	第3水曜		全職員

(2) 機能訓練実施状況

・個別機能訓練

- 発声練習・口腔体操 : 週5～毎日 3名
- 歩行訓練 : 毎日 3名
- 関節可動域訓練 : 週1～2回実施 4名
- 座位・立位保持訓練 : 週5 4名  
毎日 1名
- 下肢筋力トレーニング : 週5回 4名

・生活上機能訓練

- 自立動作の継続 : 毎日 17名  
(日常生活関連動作の促し、動作協力の促し等)
- 発語の促し : 毎日 7名
- 離床時間の確保 : 週5～毎日 6名
- 安楽な体位のポジショニング (主に看取り期) : 毎日 3名
- 移動動作訓練 (車椅子自操等) : 毎日 6名
- その他、ホールカーテンの開閉、食事の下膳など。

・作業リハビリ

- 洗濯物たたみ : 毎日 8名
- 書字 (利き手交換) : 毎日 1名
- 新聞たたみ : 毎日 1名
- その他、趣味活動 (折り紙、塗り絵など)

・集団体操・レクリエーションリハビリ (随時)

(3) 虐待防止に向けた取り組みの状況

- ・施設としてどのような体制（例：責任者の設置等）を整備しているか。  
→苦情受付の担当者を定め、虐待（の疑い）があった場合には、口頭又は施設内に4か所の苦情受付箱を設置し投書ができるように体制を整えている。
- ・施設としてどのような取り組み（例：研修の実施、掲示等）を行っているか。  
→平成29年度、法人全体として身体拘束・虐待防止の研修を開催し、虐待に対する意識を高めた。また、運営会議メンバーにて虐待防止委員会を年に2回開催し、行っている介護が不適切ケアに該当するかどうか確認し合った。身体拘束・虐待防止研修に参加した職員の伝達講習を行い、職員同士間で不適切ケアがないか、虐待にあたるケースはないか等を話し合った。結果として職員間のコミュニケーションが大切であり、虐待が疑われるケースを見つけたら、指摘し合える人間関係をつくるのが大切なのではという結果となった。日頃の人間関係が円滑にいけるようにユニット異動にも配慮が必要であることを認識した。  
苦情受付窓口を施設内に明記し、受付やエレベーター内に掲示した。

(4) 嘱託医師の回診の状況

週1回水曜日の午前に昂診療所にて嘱託医による往診を行なっている。

また、午後より各受診を入れられるようになる。

往診内容：入所者様の診察、創処置、検査指示、薬の処方、入所者様およびご家族様への病状説明、診療相談・指導、主治医意見書作成、診療情報提供書作成、ワクチン予防接種など。往診日以外に入所者様の体調に変化があった場合は、看護師から嘱託医にすみやかに報告し、嘱託医の指示のもと対処している。

リスクマネジメント：誤薬防止について、江川医師より直接ユニット職員全員にダブルチェックの必要性や、職員の体調不良また、注意力低下時について職員として取るべき行動や、他の職員からのフォローについて話をする。夕礼や紙ベースで啓発する。

(5) 食事の状況

- ・食事時間  
朝食 7:30～9:00 昼食 12:00～13:30 おやつ 15:00 夕食 17:30～19:00
- ・食費  
朝食、昼食、夕食 = 1,430円（減額有） おやつ = 67円
- ・食事形態（在籍者数 平成30年3月31日現在 29人）

常食	一口大	ミキサー食	ムース食	経管栄養	メイバランス・ソフトゼリーのみ
7人	12人	2人	3人	3人	2人

- ・代替食  
各入居者の好み等により個別に対応（ごはん or パン食(朝食)、牛乳 or ヨーグルト、肉禁等）

- ・栄養年報（平成 30 年 3 月 31 日現在）（※経管栄養の方を除く）

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	食塩相当量
給与目標量	1,565Kcal	61.3g	35.3 g	609mg	9.2g
給与栄養量	1,575Kcal	61.2 g	36.6g	604 mg	9.3g

(6) 入浴の状況

(当該年度 年間実績)

区分	入浴内容	一般浴	特別浴	リフト浴
利用（入浴）者数		2人（人員不足の為途中よりリフト浴の個浴で対応）	1,660人	1,139人
1人当たり週回数		週 2 回	週 2 回	週 2 回
実施（曜日）		（月～土曜日）	（月～土曜日）	（月～土曜日）
入浴時間帯		10時00分～16時00分(随時)	9時00分～16時00分	10時00分～16時00分
介護員数		1人	2人	2人

(7) 身体拘束の有無

(当該年度 年間実績)

身体拘束の有無	記録の有無	同意の有無	理由
無	無	無	

(8) 行事・ボランティア活動

(当該年度 年間実績)

月	活動内容
4月	お花見ドライブ
5月	鯉のぼりスイーツ作成、菖蒲湯
6月	尺八ボランティア
7月	外出ドライブ
8月	盆踊り大会、外出ドライブ
10月	オカリナ演奏会・敬老会
11月	人形劇ボランティア
12月	クリスマス会
1月	新年会
2月	寿司屋台・節分
3月	雛祭り

その他、ユニット毎の行事・レクリエーションや個別外出等あり。

(9) 防災訓練実施の状況

全職員に向けて担当区域毎に「火元責任者」を割り振り、毎月「火元責任者自主検査チェック表」のチェックを実施。9月・3月には「構造関係」「避難関係」「電気器具」のチェックを行っている。

また、別に設置している「防火担当責任者」には「防火担当責任者自主点検チェック表」に基づいての確認を指示・実施した。

避難訓練について、9月25日と3月30日に実施。3月の避難訓練は夜間の避難訓練を想定で行った。本番を意識し、入居者様に知らせず。職員にも出火場所等も伝えず、実施した。何度も参加した職員が多く、特に混乱はなかった。

又、課題としては、夜間想定の為、職員の到着に時間がかかったことと、入居者様を実際に背負う行為をした際に、股関節が開かず、背負うのに苦勞した。夜勤職員2名での避難には限界があると感じた。

(10) 運営推進会議の状況

開催日：2ヶ月に1回 第4水曜日 13:30～14:30

構成員：地域住民代表者（自治会長・山潟地区民生委員） 地域包括支援センター

御利用者様代表 御家族様代表 第三者委員（大学教員）

当該事業知見者 当該施設代表（施設長） 当該施設職員（介護支援専門員）

施設関係者（法人本部）

内 容：利用者状況報告（入退所状況・入所者変動・空所利用状況等）

事故報告・ひやりはっと件数報告・苦情相談内容報告

サービス活動状況報告・サービスへの要望及び助言

その他 前回懸案事項についての報告・回答

**4. 苦情解決体制の整備の状況**

(1) 苦情解決の仕組みの周知方法の状況

(当該年度 年間実績)

利用者への周知方法	窓口等への提示	会報等への掲載	契約締結時の説明	その他
	有・無	有・無	有・無	
解決方法の公表方法	事業報告書への掲載		会報等への掲載	その他
	有・無		有・無	重要事項及び契約書に記載・施設内掲示

(2) 相談受付件数及び概要

(当該年度 年間実績)

要望件数 3件…①トイレで職員が付き添い排泄しようとしたが、足がもつれて転倒し、骨折。通院治療後治癒した後に、ご家族より居室のベッド脇にポータブルトイレを設置してほしい。

②糖尿病である新入居者様が、甘いものを食べる時はご家族に相談してほしい。

③むすび合い手帳を今後も継続してほしい。

苦情件数 0件…なし

## 5. 短期入所生活介護（空床型）事業の状況

（当該年度 年間実績）

### ・短期入所生活介護（空床型）について

当施設は短期入所生活介護の申請をしている。特別養護老人ホームに入所されている方が、長期入院等、または退所した場合に長期に渡り空床が生じた場合に短期入所生活介護（ショートステイ）として要支援から要介護5までの方に一定期間の間、施設サービスをご利用いただくことができる。

### ・年間実績

前述、入院による空床期間や入所されるまでの空き期間を2名の方が短期入所生活介護を利用される。

### ・問題点

期間限定での利用ため居宅支援事業者からの問合せ数件あったが、利用期間が合わなためお断りする場合は殆どであった。評価点が高くSSで状態把握できる方が、当施設の空床ショートを利用できた場合、スムーズに入所できる可能性が高い。今年度は、県外からの申し込みの為、事前面接で状態把握ができない方が空床ショートを利用後入所したケースが1件あった。

### ・対応策

空床ショートから入所したいというケースが2件ほどあり、実際空床ショートをご利用後、入所申し込みされた方が入所を待っている状況である。

空床ショートの問い合わせがあったら、細切れの期間でもご利用可能な場合、利用していただけるように配慮していく。

## 6. 待機者の状況

（当該年度 3月31日現在）

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数(人)	0	6	14	15	6	41

\*待機者の現況確認を実施した結果、他の施設に既に入所された方やご逝去された方が多かったため待機者減少した。

## 7. 職員の資質の向上等人材育成の状況

### (1) 職員会議・委員会等の開催状況

(当該年度 年間実績)

会議名	開催回数		定例 開催日	記録の有無	参加職種
	定例	緊急			
運営会議	12	0	第一水曜	有・無	所長・管理者・看護師・ CM・相談員・管理栄養士・ 各UL・
職員全体会議	12	0	第三水曜	有・無	全職員 所長・管理者・看護師・ CM・相談員・管理 栄養士・各UL・
ユニット会議	36	0	各委員会 定例日	有・無	各ユニット職員
各委員会会議	35	0	各委員会 定例日	有・無	委員会責任者・各委員長 各ユニット担当職員

CM…介護支援専門員、UL…ユニットリーダー

### (2) 職員研修の状況

(当該年度 年間実績)

	研修名	実施年月日	対象者	参加人数	内容
施設内研修	バイタルサイン勉強会	4・16, 17	全職員	全職員	講義・演習
	排尿・排便の勉強会	5. 12 5. 15	全職員	全職員	講義・演習
	認知症勉強会	6. 22 6. 26	全職員	全職員	講義・演習
	認知症勉強	7. 25 7. 31	全職員	全職員	講義・演習
	認知症勉強	8. 25 8. 29	全職員	全職員	講義・演習
	オムツの勉強会	5. 22 6. 19	全職員	全職員	講義・演習
	脱水予防	6. 21	全職員	全職員	講義
	食中毒勉強会	6. 23	全職員	全職員	全職員
	ノロウィルス食中毒予防セミナー	11・20	全職員	全職員	講義・演習
	リスク事例検討	3・26	全職員	全職員	講義・演習

	研修名	実施年月日	対象者	参加人数	内容
施設内研修	社会福祉施設関係職員	12.20	全職員	4	講義
	危険予知トレーニング	2.15	全職員	全職員	講義
	平成29年度「新任職員必須研修」	5.19	新人職員	1	講義
	ビジネスマナー、電話対応基礎研修	4・18	新人介護職員	1	講義・演習
	社会福祉施設関係職員研修	6.1、2	介護職員	1	講義・演習
施設外研修	社会福祉施設関係職員研修	7.5	介護職員	1	講義・演習
	社会福祉施設関係職員研修	8・8	管理者	1	講義・演習
	平成29年度新潟市認知症介護基礎研修	5.26	介護職員	1	講義・演習
	平成29年度第1回新潟市認知症介護実践者研修	6.6	介護職員	1	講義・演習
	認知症に人の世界にすっと入れる アクターズケア	7.6	看護職員 介護職員	2	講義・演習
	「看取り研修」尊厳ある死を考える	7.8	看護職員	1	講義・演習
	施設での看取りその人らしい最期を迎えるために	8.26	看護職員 介護職員	3	講義・演習
	新潟県介護支援専門員専門更新研修	11・1 11・2 11・20 11・21	介護支援専門員	1	講義 グループワーク
	新潟県在宅褥瘡セミナー	9・28	介護職員	全職員	講義
	国際福祉機器展	1・14 1.21 1.22	看護職員 介護職員	2	講義
	平成29年度結核・感染症予防研修会	11.14	介護職員 看護職員	1	講義 グループワーク
	喀痰吸引等研修(第1、2号研修)	4.15～ 9.25	介護職員	1	講義・演習
	ユニットケア管理者研修	12.6～ 12.8	管理者	1	講義・演習
	排泄ケアに対する感染対策	12.12	看護職員	1	講義・演習

施設外研修	研修名	実施年月日	対象者	参加人数	内容
	虐待防止・対策研修	12. 19	介護職員	1	講義・演習
	記録の書き方研修	1. 17	介護職員	1	講義・演習
	脳卒中患者のリハビリテーションと看護のポイント	11. 7	看護職員	1	講義・演習

・平成 29 年 12 月 6 日～8 日まで東京でのユニットケア管理者研修に参加し、今後ユニットケアを積極的に取り組んでいくことを職員と意見交換した。

まずは、【理念】がなによりも大切なため、平成 30 年度初めには職員たちが自分たちの意見で【理念】をつくり上げ、入居者が暮らしの継続ができ、本人らしさを輝かせ、地域に必要なとされる施設を目指していくことを目標とする。

## 8. 建物・設備等の保守点検の状況

・危険な欠損、損傷個所の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

危険箇所・損傷個所	具体的な状況	今後の対応
事務所、休憩室の水漏れ	花壇側の壁と床の境目と休憩室側の壁と床の境目から水漏れしていた。休憩室の畳（特に窓側）の畳の裏にカビが発生していた。	事務所の花壇側壁紙の張替えと休憩室の畳を入れ替えた。今後も、水漏れがしないかを見ていく必要がある。
開所より徐々に地盤沈下が進行しており、施設の周囲に段差が生じている	正面玄関 6 センチ以上の段差が生じており、移動の際に支障がある	アスファルトで段差解消した。今後も施設周囲の段差を観察していく。
特浴の寝台を支えるアクチュエーターの部分	入居者様に入浴をさせていただく際に、特殊寝台を下げて浴槽に入れようとしたときや、入浴を終えて特殊寝台を下げようとした際に「ガタン」という異常音が生じた	他の施設で、職員が油をさしたり、ねじを締めていた場合に、アクチュエーターが急に下がったことがあったとの報告を受けたため、素人判断で勝手にいじらないようにしてほしいと販売会社からお願いがあった。
エアコンの業務用室外機	29 年度の寒波が強かった為、外に設置している室外機が凍り、「ガタガタ」と大きい異常音が生じた	ヒーターを取り付け、氷の発生を抑制した。風当たりが強いので、施設周囲を毎日見まわり、室外機

	<p>いた。プロペラ部分に氷が張り付いてスムーズに回らなかった。職員が氷を砕いた際に、室外機の外側の部分を傷つけ、ガスが抜けてしまった。</p>	<p>に積もっている雪を落とすようにする。雪害による設備損壊のため保険適用し、修繕した。</p>
<p>施設内LED交換工事</p>	<p>(株) インデントインキュベーターよりLEDモデル施設の問い合わせがあり、全館蛍光管であり電気使用量の問題を抱えていたため、将来的な工事の必要性を見据えて、全館のLED交換工事を行った。</p>	<p>7年間リースでリース期間中は補償あり、その後は無償譲渡となる。</p>